

校 報

や よ い

千種中学校

6 月 号

校 訓

正しく(正直)
強く(元氣)
仲よく(働き)

人権文化を育むために

人権担当 藤井 翔

しっとりとした空気に緑の香りが漂う初夏の候、地域のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、千種中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、近年多様性が重視されるようになり、グローバル化や「LGBTQ」を始めとしたさまざまな概念が広く知られることとなりました。私たちだけではなく、生徒たちも普段の生活の中で多様な文化・社会を感じる場面が増えたと思います。

たくさんの方が自分らしく生きやすくなってきた一方、その「自分らしさ」が対立する場面も見られるようになってきているように思います。自分の個性を發揮することは、とても大事なことです。しかし、發揮する場面を間違えればそれが悪い方向に働いてしまうことも多いと感じています。例えば、「元気がいい」という個性を持つている人が、静かに行動しなければいけない時にしゃべりながら行動しては、それは褒められることではなく、適切な場面で個性を發揮できていないと言えます

す。こうした場合は、否定するのではなく、別の場所で個性を發揮できるようにすることが重要です。それぞれの個性を尊重しつつ、それぞれが適切な場面で發揮してこそよりよい社会にしていけると思います。

「せっかちである」ということが「行動力がある」というように、長所は短所の裏返し“とは言われますが、それは長所や短所の話だけではなく、言動についても当てはまることではないでしょうか。多様性を認め合うとはいっても、どんな場面でも自分本位に行動することを許されているということではありません。周りを見て、行動を合わせることも時には必要なのです。

また、多くの良い部分が見えてきた一方で、それまで見えていなかった差別が表面化してきたことも忘れてはいけません。いろいろな考え方が知られるようになったことは、それに対する人の感情も多くなるということです。差別解消に向けた法整備など、さまざまな解決策も取られています。まだまだ解決したとは言えない状況が続いており、インターネット上での差別も問題視されています。差別的解消には、その対象への理解が不可欠です。多様性への理解という現

在の情勢が、さらに広い分野の理解を深め、さまざまな差別の解消につながればより良い活動になっていくのではないのでしょうか。本校では人権意識を高め、お互いの個性を尊重しあえるような学校づくりをめざしてこれからも教育活動に取り組んでいきます。

大会 結果

【栄栗市春季大会】

| | | | |
|-------|-----|-----|-----------|
| 男子卓球部 | 個人 | 第三位 | 女子バレーボール部 |
| 優勝 | 九年 | 鳥羽 | 真玄 |
| 第三位 | 九年 | 本庄 | 朗人 |
| 女子卓球部 | 団体 | 準優勝 | |
| 個人 | 準優勝 | | |
| 準優勝 | 九年 | 福下 | 心菜 |

【栄栗市オープン卓球大会】

| | | | |
|--------|---------------|-----|-----------|
| ジュニアの部 | 女子一部 | 準優勝 | 千種中学校Aチーム |
| ジュニアの部 | 女子二部 | 九年 | 村上かれん |
| 第三位 | 千種・山崎南中学校Dチーム | 九年 | 春名 咲耶 |
| 八年 | 有富 陽 | 九年 | 福下 心菜 |
| ジュニアの部 | 男子一部 | 優勝 | 千種中学校 |
| 九年 | 鳥羽 | 真玄 | |
| 九年 | 本庄 | 朗人 | |
| 九年 | 鎌田 | 空 | |

【今月のメディアアカウントロール標語】

「手にスマホ その当たり前前 見直そう」
八年 小野 華菜

6月の予定

6月のノー部活デー
16日(日)、17日(月) 18日(火)、19日(水)
20日(木)、25日(火)
スクールカウンセラー来校日
24日(月)

19日(水) 1学期期末考査(～21日)
21日(金) 第1回千種学園学校運営協議会
25日(火) 心肺蘇生法講習会(教職員)
27日(木) 栄栗市総合体育大会壮行会
29日(土) 栄栗市総合体育大会

7月の予定

7月のノー部活デー
2日(火)、9日(火)、16日(火)
スクールカウンセラー来校日
8日(月)

1日(月) 振替休業日
3日(水) 到達度テスト[全学年]
4日(木) 西播相撲大会
5日(金) トライやる・ウィーク発表会
8日(月) 租税教室[9年]
9日(火) 情報モラル講演会・自治会別懇談会
10日(水) 講師招聘校内授業研究会
11日(木) 西播総体壮行会
12日(金) 給食最終日
13日(土) 西播総体(～14日)
16日(火) 三者面談[9年](～17日)
18日(木) 生徒総会
19日(金) 1学期終業式
中学生サミット
中高合同職員会議
21日(日) 夏季休業開始(～8/31)
28日(日) 第1回PTAリサイクル活動

九年修学旅行

五月十五日〜十七日

九年 春名 咲耶

この修学旅行では色々な面で大切なことを学ぶことができました。まず、一番勉強になったことは下調べをして、予定をしっかりと立てることです。デイズニーではどこに行つて何をかうのかなど、事前に細かく決めておいたので、スムーズにまわることができました。しかし班別行動では、電車を間違えたり、道が分からなくなったりしたので、細かく決めておくことが大切だと思いました。今後は細かい予定を立てておくようにしたいと思います。次に、ホテルの使い方についてたくさん学んだことがあります。当たり前のことでも、できなかったところがあつたり、時間が足りなかったりして、改善するべきところがたくさんありました。結果的には、修学旅行を通して、旅行に必要な知識が身についたり、友達との仲が深まったりしたので良い経験になりました。また、このクラスの本番で行く最後の旅行で、良い思い出がたくさんできたので良かったです。

九年 阿曾 咲来

私はこの修学旅行に十五人みんなが揃つて行って、何事もなく帰つてくれたことが本当に幸せなことだと思えました。全員で行くことができて本当に嬉しかったです。この修学旅行は楽しいことがいっぱいでしたが、学んだこともたくさんありました。普段使わない電車や新幹線等の公共交通機関

の使い方を、聞くだけではなく、実際に体験することで知ることが多くありました。

この修学旅行は、私たちにしっかりと時間を守つて集団で行動することの大切さを教えてくれました。しっかりと時間を守り、先生の話を聞いて行動できてほとんど良かったけど、だめなところもありました。これからは今回の修学旅行で学んだことを生かして更にレベルアップした集団になります。小さい頃からずっと一緒だったこのメンバーと過ごす最後の一年を大切にしたい。最高の思い出をみんなでのこの十五人で作っていききたいです！

七年わくわくオーケストラ教室

五月二十九日

七年 上山田 蒼空

バイオリンやチェロ、フルートなどの楽器が一斉に音色を奏でるオーケストラに行つてきました。生のオーケストラは生まれてはじめてだったので、行く前からわくわくが止まりませんでした。建物が見えてくると、あまりにも大きかったのでびっくりしました。いざ、演奏が始まってみると、ものすごい迫力で圧倒されました。楽器それぞれが音がしっかりこつちまで伝わってきました。

一九九五年一月十七日午前五時四十分

に起きた阪神・淡路大震災のことを詳しく知るために人と防災未来センターにも行きました。まず最初に地震直後の映像を見ました。すごく音量が大きくて、実際は揺れていないのに揺れているようでした。その後は当時の写真や、震災を経験した人のビデオを

見ました。図を見てみると館内の案内の方に話しかけられました。その人はどうして地震は起こるのかやどういう所で地震が起きるのかを教えてくださいました。また、近いうちに起きる可能性がある

がある地震も教えてくれました。それで近いうちに大きな地震が来ることを知りました。予想では「すごく強い地震が来る」と聞きました。正直凄く怖いですが、いつ来てもおかしくないから今来るかもしれないと思つてしまいません。だから非常食やヘルメットを準備しておいて、少しでも地震に備えたいと思つています。

中学校に仲間入りして初めての校外学習だったけれど「わくわくオーケストラ」も「人と防災未来センター」もたくさん学びがあったので大成功だと思えます。

七年 山田 奈央

七時前、いつもより早い時間に学校へ行きました。今日はずっと楽しみにしていたわくわくオーケストラ教室と人と防災未来センターに行く日だったので、全員バスの中でも興奮していました。兵庫県立芸術文化センターは入った瞬間からすごかったです。階段がデイズニーみたいで大きかったです。いでした。会場も大きかったです。ト

イレまできれいでした。演奏も本当にきれいでした。楽器紹介もあり、その楽器だけの演奏を聞くこともできました。形は似ていても違った音色で聞いていて楽しかったです。ウルタヴァの演奏もスクリーンを見ながらだと情景を想像することができました。最後のふるさとでは演奏者の方たちと合わせて他の学校の人たちと歌うことができ

嬉しかったです。オーケストラは行ったことがなかったしこれから行かないかもしれないけど、こういった機会に行つて、生の演奏を聴けて、いい経験ができました。

この後に人と防災未来センターに行き、地震のことをもっとくわしく学ぶことができました。はじめに見たものは実際の映像でした。すごくゆれて、くずれていて怖かったです。写真よりも実感が湧きました。崩れた様子をリアルに再現しているところもありました。阪神淡路大震災は朝早い時間で暗かつたと思うから、避難がより困難だったと思います。写真や地震で実際に壊れたものとも見ました。ゴルフクラブも真つ二つに折れていました。どうやったらあんなに硬いものが折れるのかと地震は怖いし強いんだなと感じました。

他にも日本は一年間に震度二以上の地震が約二万八千回も起きています。地震の起き方は二種類あり、予測が難しくなることがあるということも教えてもらいました。いつ起こるか分からない地震に常に備えておかないといけないなと思いました。

今日学んだことをこれからの授業や生活にかけるようにしたいと思います。

【お譲りください】

お家で使わなくなった刃物や砥石はごさいませんか。

〜錆びたものでも大歓迎〜

※ 地域学習「千種学」で使用します

TEL 76-2003 まで

